

こんなところに IDEC — 制御盤と産業用スイッチ —

前回の株主通信では、「制御盤」とよばれる設備と、そこで使われている IDEC 製品をいくつかご紹介しました。そこで今回は、その制御盤の中でも、人が直接操作して機械や生産ラインを作動、あるいは停止させるためのスイッチについて、少し掘り下げてご紹介しましょう。

スイッチ 国内トップシェア 32%

右下の写真Aのように、制御盤にはその盤面にいくつかのスイッチが搭載されています。これらのスイッチは、産業現場における各種設備や機械、装置、生産ラインを作動・停止させるために重要な役割を担っていて、IDECはこのスイッチにおいて、国内トップシェア32%*を誇っています。スイッチといっても、私たちの身の回りにある携帯電話のボタン、電子レンジや洗濯機などの家電製品のスイッチとは異なり、IDECがお客様に提供しているスイッチは、「産業用スイッチ」とよばれ、それら身の回りのスイッチとは、求められる堅牢性・耐環境性が異なるのです。

*2007年度におけるNECA(社団法人日本電気制御機器工業会)の出荷統計「押ボタンスイッチ」「照光式押ボタンスイッチ」「セレクタスイッチ」の実績より算出

産業現場においてスイッチに求められること

産業現場で使われるスイッチは、水や油、粉塵まみれの環境下で使用されることは当然のことながら、時には作業者が持っている工具で叩くこともあります。それでも10年～20年の長い間、使用に耐え得る堅牢性と耐環境性を当然のように求められる—それが産業現場なのです。

また、「ものづくり立国」を支えてきた日本の製造業は、かんばん方式に代表されるように、いかにムダを省き、生産性を向上させるかというコストダウンと同時に、常に品質の向上を追求してきました。そのような製造現場では、スイッチ1個の故障によって生産ラインが1時間停止する、あるいは1台数千万円する機械が停止するという状況は許されませんし、逆に万が一の危険時には、確実に機械を停止させる必要があります。すなわち、どんな状況においても、確実に機械やラインを作動さ

せ、確実に停止させる必要があるのです。IDECのスイッチは、長年この点において、お客様からの高い評価を獲得してきました。

IDEC のこだわり

さらに IDEC では、その用途に応じてお客様のどんなニーズにも応えることができる、幅広いバリエーションをそろえています。ひとことで産業用スイッチといっても、その用途はさまざまです。機械や計測器など、作業者が1日に何度もそのスイッチを操作するような場合は、繰り返し押ししても疲れにくい、操作荷重の軽いスイッチが求められます。また一方で、鉄鋼業、造船などの重工業の製造現場や、石油化学工業のプラントでは、作業者が作業手袋をはめてスイッチを操作することも多く、自らの意思で確実に操作したことがわかるように、操作荷重の重いスイッチが求められます。そこで IDEC では、前者をライトタイプ、後者をヘビータイプと分類し、お客様の使用環境や用途に最適なスイッチをご提供しています。

IDECのスイッチは、このようなお客様のニーズに応え、今日もさまざまな産業現場で活躍しています。

